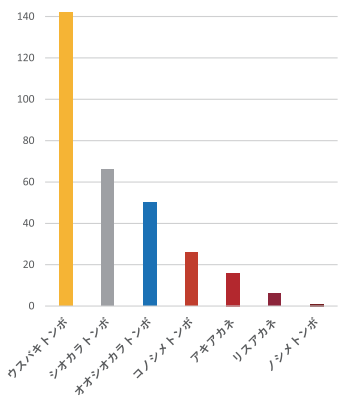


トンボとり大作戦

子どもたちにトンボの生態や地域の環境を知ってもらうために実施している調査。
6月から10月まで実施しており、調査回数は各調査地点で異なる。

①調査回数②参加人数(子どもおよび保護者のべ人数)③マーキング種数と頭数④主催者コメント

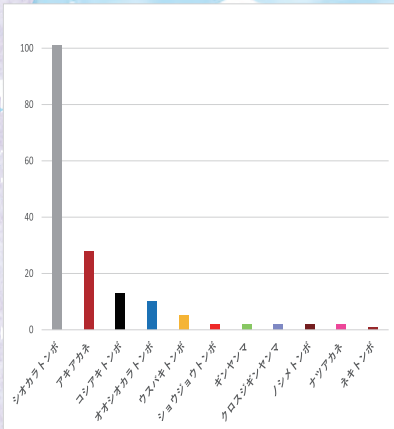
富岡総合公園



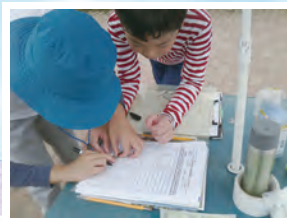
①5回
②82名
③7種 307頭
④令和6年度の富岡総合公園におけるトンボとり大作戦は、夏場は猛暑により参加者の落ち込みも見られました。しかし、その後は9月～10月と参加者の増加がみられ最終回の10月が最も多くなりました。



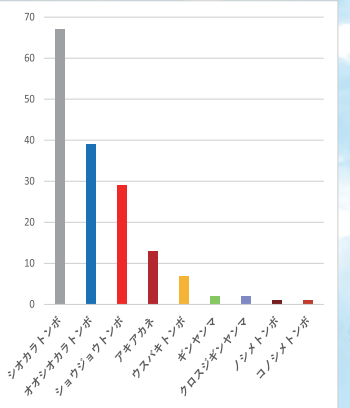
JFE エンジニアリング株式会社 横浜本社 JFE トンボみち



①9回
②37名
③11種 168頭
④シオカラトンボが年間で101頭と断然トップでした。それに比べて、アキアカネが28頭と非常に少なく、温暖化の影響かもしれないので心配。



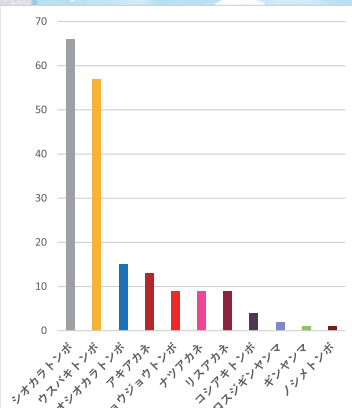
長浜公園



①5回(スタッフ調査1回含)
②86名
③9種161頭
④今年も昨年に引き続き、ギンヤンマを捕獲することができました。熱中症対策として、長浜公園の菜園で収穫した『キュウリ』を氷で冷やして、参加者のみなさんにお配りました。



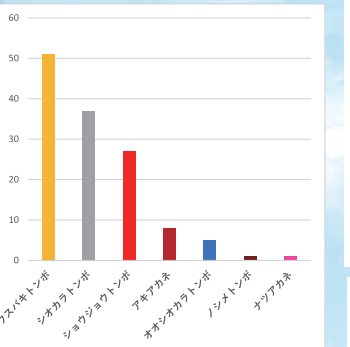
本牧市民公園



①5回
②193名
③11種 186頭
④昨年よりウスバキトンボの数が増えました。トンボは身近で人気の昆虫で、三溪園と繋がる大きな池がある当公園のシンボリック的存在です。当公園の池の水は天水によるもので、自然と一体となっている環境です。ギンヤンマが一際かっこいいです。



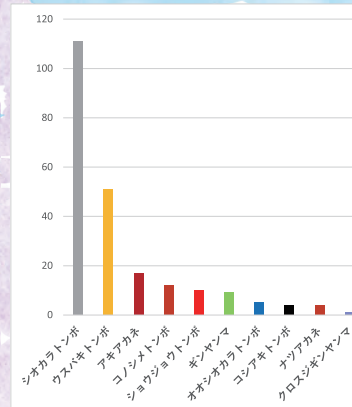
貨物線の森緑道



①5回
②26名
③7種130頭
④10月にウスバキトンボを30頭以上捕獲。9月にはノシメトンボを初記録しました。目視ではクロスジギンヤンマとコシアキトンボを確認。今年もジュニア調査員が大活躍。



根岸森林公園

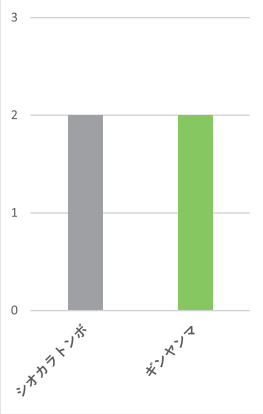


①5回(スタッフ調査1回含)
②78名
③10種224頭
④概ね天候が良く多くの方が参加された。今年度は初めてクロスジギンヤンマが1頭捕獲された。また、オナガサナエも初めて目視ではあるが確認されました。

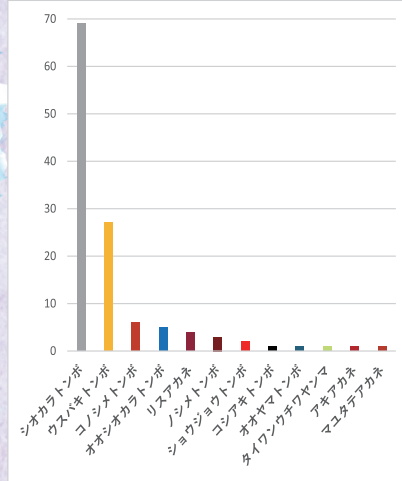


白幡池公園

三ツ池公園



- ①1回
- ②36名
- ③2種4頭
- ④開始まもなくしてから雨が降り出してしまい、残念な結果となりましたが、ジュニア調査員がギンヤンマのペアを捕獲してくれたので、盛り上がりました。



- ①1回
- ②41名
- ③12種121頭
- ④2歳から12歳までのお子様を含む一般参加者で23名もの参加者があり、トンボ調査の普及啓発として成果をあげることができました。三ツ池公園を活用する会里山クラブ会員と合せ41名によって調査がなされました。



トンボはドコまで飛ぶかフォーラム 会社紹介

新たな参加団体の紹介～14年ぶりに企業が参加しました～

ニチアス株式会社は、1896年(明治29年)に創業し、シール材、断熱材の製造販売から事業がはじまりました。これらの「断つ・保つ」®の技術を基盤として、産業の成長とともにエンジニアリング事業、建材事業、自動車部品事業、半導体市場に特化した高機能製品事業に拡大して参りました。そのような当社では、企業理念として「ニチアスは「断つ・保つ」の技術で地球の明るい未来に貢献します」と掲げています。地球はいま、温暖化をはじめとした様々な環境課題に直面しています。生物種においても、過去100年間の人間活動の影響で種の絶滅が異常な速さで進んでいるといわれており、その危機的状況を受けて2022年12月「昆明・モントリオール生物多様性枠組」において「2030年までに生物多様性の損失を止めて反転させる」という世界目標も定められました。このような社会情勢において、当社としてどのような貢献ができるか検討するなか、当社のコーポレートマークである「トンボ」に関わることをできないか、と考えました。

本フォーラムの皆さまには釈迦に説法となりますが、トンボは奈良時代、日本全体を表現する「秋津(あきづ)」と呼ばれ、また勝ち虫として非常に縁起のいいものと捉えられていました。そこで当社では、日本の国を意味するトンボ、そして縁起のいいものであることを踏まえ、1923年(大正12年)にトンボを商標登録しました。トンボは、コーポレートマークに使用しているのみならず、ほぼすべての製品に「トンボナンバー」を付して、お客さまにご愛用いただいています。主力製品のひとつであるガスケット・パッキン製品については、お客さまからのご注文の際にトンボナンバーで指定いただくほどです。また海外、特に東南アジアでは、ニチアスの社名よりトンボブランドやトンボナンバーのほうが、知名度が高い場合も多いです。トンボブランドおよびそこから派生したトンボナンバーは、商標登録から100年経った今でも、お客さまにご認識いただいています。

このように、トンボの恩恵を受けている当社ですが、その保全活動においては専門的な知識がありません。どうしたものかと調べているなかで、トンボはドコまで飛ぶかフォーラムに出会い、京浜臨海部の緑地の質向上と生物多様性への貢献を目的として活動していることを知りました。当社は、鶴見区大黒町に製造工場・研究所を有しているので、ぜひ一緒に取り組みたいと思い、このたび企画させていただきました。これにより2024年9月にミニビオトープを造成しました。これから毎年8月の本調査や拡大運営委員会への参加を通じて、京浜臨海部の生態系ネットワークの構築に貢献していきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いたします。



鶴見工場



大正13年ごろのトンボ印



現在のコーポレートマーク



鶴見工場ビオトープ

トンボロゴマークの変遷

トンボとり大作戦報告会・表彰式2024

日時..2024年11月24日(日) 13時30分~15時
会場..根岸森林公園

1年間のトンボ調査を締めくくる報告会と表彰式の当日は行楽日和でしたので、会場の公園はたくさんのお家族づれで賑わっていました。そして、報告会・表彰式に興味を示して飛び入り参加される方もおられました。

はじめにトンボはドコまで飛ぶか本調査とトンボとり大作戦調査結果について、トンボ博士の田口先生から報告がありました。

そして休憩をはさんで、ジュニア調査員養成講座報告と認定証授与、スタンプリーパー表彰が行われました。ジュニア調査員として今西幸彦さん(小5)が認定され、スタンプリーパー表彰のフォーラム大賞が4名、フォーラム優秀賞、フォーラム賞が各1名授賞されました。ご家族を含めておめでとうございます！

また、ジュニア調査員2期生の稲田巧さん(中1)、3期生の井上瑛翔さん(小5)はスタンプリーパー表彰のプレゼンターとして活躍しました。



会場の様子



全員集合!

ジュニア調査員認定

4期生が誕生しました!!

ジュニア調査員養成講座を受講し、5つのミッションをクリアした今西幸彦さん(小5)がジュニア調査員(4期生)に認定されました。

これから大人と一緒にトンボはドコまで飛ぶか本調査に調査員として参加して、大活躍が期待されます。



ジュニア調査員になるための5つのミッションとは?

- ①オリエンテーションに参加して調査について理解する。
- ②トンボとり大作戦に10回以上参加する。
- ③学習会に参加してトンボについて理解する。
- ④8回以上調査に参加したら、はねに番号をかかせてもらおう。
- ⑤報告会に参加して学んだことを発表しよう。



発表の様子

今西幸彦さん



応援しているよ!



2024年度「トンボはドコまで飛ぶかフォーラム」標識による直接移動確認記録

(敬称略)

種類	雌雄	マーキング日	マーキング場所	再捕獲(確認)場所	再捕獲(確認)日	日数	移動距離	再捕獲(確認)者	確認方法	個体番号
①シオカラトンボ	オス	7月28日	三ツ池公園	北部第2水再生センター	7月30日	3	4.5 km	荻原麻衣	捕獲	8S51
②オオシオカラトンボ	オス	7月24日	JVCケンウッド	入江川緑道	8月6日	14	2.3 km	今西幸彦	捕獲	4V04
③シオカラトンボ	オス	8月1日	SF校	鶴見乳幼児福祉センター保育園	8月8日	8	0.6 km	市民情報	写真	1H05
④シオカラトンボ	オス	8月10日	JFE トンボみち	入船公園	8月10日	1	1 km	稲田瑠美子	捕獲	J815
⑤シオカラトンボ	オス	8月2日	SF校	目黒川船入場橋左岸下流	8月12日	10	16.3 km	佐藤澄子	写真	2H27

